

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
【発行日】 令和 7 年 4 月 22 日 (2025.4.22)

【国際公開番号】 WO2024/236642
【出願番号】 特願 2024-519437 (P2024-519437)
【国際特許分類】
G 0 6 N 5 / 0 4 (2023.01)
【 F I 】
G 0 6 N 5 / 0 4

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 3 月 28 日 (2024.3.28)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

第 1 のユーザ及び第 2 のユーザの間で、複数の選択肢から一つを選択肢を選択するために行われる検討の内容を示す検討情報を取得する取得部と、

前記第 1 のユーザの個人特性から、前記複数の選択肢から前記第 1 のユーザが選択する一つを選択肢を第 1 の推定選択肢として推定し、前記第 2 のユーザの個人特性から、前記複数の選択肢から前記第 2 のユーザが選択する一つを選択肢を第 2 の推定選択肢として推定する特定制御部と、を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記第 1 の推定選択肢を示す情報を前記第 1 のユーザが使用する端末に送信し、前記第 2 の推定選択肢を示す情報を前記第 2 のユーザが使用する端末に送信する通信部をさらに備えること

30

を特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記取得部は、前記第 1 のユーザが前記複数の選択肢から選択した一つを選択肢である第 1 の自主選択選択肢を示す情報と、前記第 2 のユーザが前記複数の選択肢から選択した一つを選択肢である第 2 の自主選択選択肢を示す情報とを取得し、

前記特定制御部は、前記第 1 の推定選択肢及び前記第 1 の自主選択選択肢の一方と、前記第 2 の推定選択肢及び前記第 2 の自主選択選択肢の一方とが一致する選択肢である場合には、前記一致する選択肢を共感評価項目として特定すること

を特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

40

【請求項 4】

前記共感評価項目を示す情報を前記第 1 のユーザが使用する端末及び前記第 2 のユーザが使用する端末に送信する通信部をさらに備えること

を特徴とする請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記個人特性は、複数の種別のそれぞれに対応する複数の値からなり、

前記特定制御部は、前記複数の種別に含まれる少なくとも一つの種別に対応する少なくとも一つの値を前記個人特性に含むユーザが選択すると推定される選択肢を推定評価として示す評価推定情報を参照することで、前記第 1 のユーザの前記個人特性に前記少なくとも一つの値が含まれる場合に、前記少なくとも一つの値に対応する前記推定評価で示され

50

る前記選択肢を前記第 1 の推定選択肢として推定し、前記第 2 のユーザの前記個人特性に前記少なくとも一つの値が含まれる場合に、前記少なくとも一つの値に対応する前記推定評価で示される選択肢を前記第 2 の推定選択肢として推定すること

を特徴とする請求項 1 から 4 の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記取得部は、複数のユーザが、それぞれ、前記複数の選択肢から選択した一つの選択肢である自主選択選択肢を示す情報を取得し、

前記複数のユーザの前記個人特性に含まれる、前記複数の種別の少なくとも一つの種別に対応する少なくとも一つの値と、前記自主選択選択肢との両方が一致する情報が取得された回数が、予め定められた閾値を超えた場合に、前記評価推定情報に、一致した前記少なくとも一つの値に対応付けて、一致した前記自主選択選択肢を前記推定評価が示す選択肢として追加する追加制御部をさらに備えること

を特徴とする請求項 5 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記取得部は、外部環境を示す外部環境情報をさらに取得し、

前記個人特性は、複数の種別のそれぞれに対応する複数の値からなり、

前記特定制御部は、前記複数の種別に含まれる少なくとも一つの種別に対応する少なくとも一つの値を前記個人特性に含むユーザが選択すると推定される選択肢を推定評価として、複数の外部環境の各々において示す評価推定情報を参照することで、前記外部環境情報で示される外部環境において、前記第 1 のユーザの前記個人特性に前記少なくとも一つの値が含まれる場合に、前記少なくとも一つの値に対応する前記推定評価で示される前記選択肢を前記第 1 の推定選択肢として推定し、前記外部環境情報で示される外部環境において、前記第 2 のユーザの前記個人特性に前記少なくとも一つの値が含まれる場合に、前記少なくとも一つの値に対応する前記推定評価で示される選択肢を前記第 2 の推定選択肢として推定すること

を特徴とする請求項 1 から 4 の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記複数の選択肢を再現する再現制御部をさらに備えること

を特徴とする請求項 1 から 4 の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記複数の選択肢を再現する再現制御部をさらに備えること

を特徴とする請求項 5 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記複数の選択肢を再現する再現制御部をさらに備えること

を特徴とする請求項 6 に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

前記複数の選択肢を再現する再現制御部をさらに備えること

を特徴とする請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

コンピュータを、

第 1 のユーザ及び第 2 のユーザの間で、複数の選択肢から一つの選択肢を選択するために行われる検討の内容を示す検討情報を取得する取得部、及び、

前記第 1 のユーザの個人特性から、前記複数の選択肢から前記第 1 のユーザが選択する一つの選択肢を第 1 の推定選択肢として推定し、前記第 2 のユーザの個人特性から、前記複数の選択肢から前記第 2 のユーザが選択する一つの選択肢を第 2 の推定選択肢として推定する特定制御部、として機能させること

を特徴とするプログラム。

【請求項 13】

第 1 のユーザ及び第 2 のユーザの間で、複数の選択肢から一つの選択肢を選択するために行われる検討の内容を示す検討情報を取得する取得部と、

10

20

30

40

50

前記第 1 のユーザの個人特性から、前記複数の選択肢から前記第 1 のユーザが選択する一つの選択肢を第 1 の推定選択肢として推定し、前記第 2 のユーザの個人特性から、前記複数の選択肢から前記第 2 のユーザが選択する一つの選択肢を第 2 の推定選択肢として推定する特定制御部と、を備えることを特徴とする情報処理システム。

【請求項 1 4】

第 1 のユーザ及び第 2 のユーザの間で、複数の選択肢から一つの選択肢を選択するために行われる検討の内容を示す検討情報を取得し、

前記第 1 のユーザの個人特性から、前記複数の選択肢から前記第 1 のユーザが選択する一つの選択肢を第 1 の推定選択肢として推定し、

前記第 2 のユーザの個人特性から、前記複数の選択肢から前記第 2 のユーザが選択する一つの選択肢を第 2 の推定選択肢として推定すること

を特徴とする情報処理方法。

10

20

30

40

50